

誰もが安心して暮らせるまちづくり  
社会福祉法人 寝屋川市社会福祉協議会



# 社会福祉協議会だより

平成30年2月1日  
第142号

社会福祉協議会だより◆虹 142号 平成30年2月1日発行



子どもから高齢者まで、幅広い世代を対象に活動をすすめています(成美校区福祉委員会)

## 特集

“チョット寄ってん家”が  
期間限定でオープン

## 主な記事

社会福祉協議会会員募集にご協力ください  
校区福祉委員会活動紹介～点野校区・西校区～  
施設と一緒に!かぎ預かり事業  
ボランティア功労者の紹介  
(厚生労働大臣表彰・大阪府知事表彰受賞)  
募金へのご協力ありがとうございました  
お知らせコーナー(募集、案内)  
地域のヒト! 北野 冴子(きたの さえこ)さん  
(成美校区福祉委員会 委員長)

寝屋川市社協

検索

## インタビュー 地域のヒト!

Vol.8

きたの さえこ  
北野 冴子さん

(成美校区福祉委員会 委員長)



福祉委員のみなさんと新しい活動にも前向きに取り組む  
北野委員長。1月には子ども食堂も立ち上げました。

### 活動に参加したきっかけは 民生委員になったこと

地域福祉活動に本格的にかかわりだしたのは、民生委員になってからです。ここまで長く続けてこれたのは、かかわった方が自立していく姿をみたときの感動があったから。課題を抱えた方からの話を聴きながら、役に立つと考えた情報を伝え、一緒に解決策を考え、それが実際に支援につながったとき、本当にうれしかったですね。

そして、一緒に活動している仲間にも恵まれました。今まで頑張ってきたのは、ともに切磋琢磨してきた仲間のおかげでもあります。

### いろんな人が 一生懸命になることが大切

校区福祉委員長になって2年が経ちました。意識しているのは、福祉委員のみなさんが活動を楽しみながら一生懸命になれる組織にしていこうことです。そのためにも、誰か一人がたくさんの仕事を背負うのではなく、いろんな人が活動に関わっていくのが理想ですね。私の好きな言葉に「和をもって貴し」という言葉がありますが、みなさんが丸く仲良く、活動に向かっていけるような、そんな福祉委員会にしていけたらいいなと考えています。

### 北野さんの今後の抱負

「住民どうしがつながりあえる地域を作っていきたいです。」

24万人の市民の目にとまります!  
**虹に広告を  
のせませんか?**  
▶人材確保にひと役!  
▶求人、生徒募集に活用  
いただけます  
詳しくは...  
社会福祉協議会まで  
お問い合わせ下さい  
☎072(838)0400

「我は我、人は人、されど仲良く」ですね。(K・Y生)

阪神淡路大震災・東日本大震災・熊本地震と続いたなかで、わが町大阪ことに寝屋川市では、地震の被害も少なく住みよいところですが、何年か前の局地的な集中豪雨でわが寝屋川市でも床上、床上浸水の被害が発生したことは、記憶に新しい出来事です。

水害もさることながら今一番心配なことは、向こう30年の間に起こりうるといわれている南海地震、東南海地震、東海地震の連鎖による南海トラフ巨大地震ではないかと思う。

神戸の語り部の方が、地域住民の連携がうまく図れている地域ほど、災害時の対応が早く出来ると話されていたことを思い出します。私達も福祉活動、自治会活動その他あらゆる活動を通じて地域住民の連携を図り、来て欲しくないのがその日のために備えたいものです。

編集後記  
れんこん畑

◆発行者/社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会  
◆編集者/社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会広報編集委員会 寝屋川市池田西町28-22市立総合センター内  
◆電話 072-838-0400 ◆FAX 072-838-0166 ◆URL: http://www.neyagawa-shakyo.or.jp

社会福祉協議会だより◆虹 142号 8

この機関誌は、共同募金配分金を活用して作成しています。印刷コストは1部4.78円(115,000部作成)



**社会福祉協議会(社協)の活動を応援してください!**

誰もが住みなれた街で安心して暮らしていけるまちづくりを目指し、行政や住民、民間の福祉サービス事業者など、公民が協働して進めていく取り組みを地域福祉活動と言います。この地域福祉活動をすすめていくには、地域住民が互いに支え合う関係であることがとても大きな力となります。社協は、住民の福祉や地域社会に対する関心を高めていくことで、福祉制度やサービスの内容を他人任せにせず、住民自身が考え、支え合う「住民が主人公の地域福祉」をすすめる組織です。

例えば、ひとり暮らし高齢者の孤立死や閉じこもりの防止を目的とした「見守り活動」特に、ひとり暮らし高齢者の緊急時に、地域

会員区分と会費額	
一般会員	500円
特別会員	1,000円
賛助会員	2,000円
特別賛助会員	3,000円
名誉会員	5,000円
特別名誉会員	10,000円

※500円未満は、協力費として取り扱わせていただきます。

## 平成30年度寝屋川市社会福祉協議会会員募集 地域の福祉力、一緒にUPさせませんか?

あなたもワンコインで地域福祉の担い手に! 住民賛助会員制度にご協力をお願いします

### 〈あなたのまちの福祉活動〉

- ♡ふれあいいきいきサロン
- ♡子育てサロン
- ♡個別支援活動
- ♡声かけ・見守り活動
- ♡緊急時安否確認(かぎ預かり)事業 など
- ♡ひとり暮らし高齢者の交流

### ◆会費の使い途◆

一般会員(500円)の場合

225円 (45%)    275円 (55%)

【平成29年度予算(2150万円)の割合を500円とした場合】

### 〈市全域の福祉活動〉

- ▷まちかど福祉相談
- ▷車イスの貸出しサービス
- ▷ボランティアの養成・研修会の開催
- ▷ボランティアの相談・需給調整
- ▷災害ボランティアスタッフの養成
- ▷広報・啓発活動
- ▷福祉学習の支援
- ▷献血活動など

※人件費には使用していません

### ご協力いただいたら...

1. 社会福祉協議会会員の証であるステッカーをお渡しします。
2. あなたのまちの福祉力UPに貢献できます。



平成30年度  
会員募集に  
ご協力お願いします

住民と関係者が連携し、安否確認を行う「緊急時安否確認(かぎ預かり)事業」を市内21施設の協力のもと行っています。  
さらに、地域住民の交流を深める「ふれあいサロン」、子育て中の親子が集う「子育てサロン」、ボランティア講座、研修などさまざまな活動に、地域住民が主人公となって取り組んでいます。  
このような活動をおして福祉への関心を高め、地域福祉をすすめる社協を、財源の面から応援してもらおうが「住民賛助会員」です。

会員募集は、2月26日から3月26日(一部地域によっては異なる場合があります)を募集期間として、自治会の協力のもと、募集のお願いをしています。  
社協会員の加入は、決して強制ではありません。みなさんの自主的な判断によるご協力をお願いします。

## 特集

# 期間限定「チョット寄ってん家」がオープン 寝屋川市社会福祉協議会地域貢献委員会の取り組み

### 46の社会福祉法人が協働

寝屋川市内の児童、高齢者、障がい児者という対象種別を超えた46の社会福祉法人で組織された寝屋川市社会福祉協議会地域貢献委員会(大西正禮委員長)では、経済的に困窮している人や社会的に孤立状態にある人への食品支援や就労支援などの取り組みを展開しています。

1月15日(月)には、寝屋川市駅近くの「桜撫庵」の長屋門スペースを借用し、「チョット寄ってん家」を、期間限定でオープンしました。1月15日(月)から3月23日(金)まで(土日祝日を除く)の午後1時から6時まで開店していま



オープン初日は大勢の方でにぎわいました



保育園児が作った可愛い作品展示心が癒されます



障がい者作業所の手作りお菓子を販売ぜひお買い求めください

す。この事業は、大阪府社会福祉協議会が主催する「大阪しあわせネットワークと地域貢献委員会との連携推進モデル事業」で、大阪府社会福祉協議会とも連携した取り組みとなっています。  
また、オープンにあたり、地域貢献委員会は企画委員会を立ち上げ、企画委員が中心となって、各分野で取り組める内容について検討を行いました。

### 福祉施設の作品展示や販売、福祉相談を実施

「チョット寄ってん家」では、保育園児や高齢者などの作品展示、

また、高齢者施設職員や保育園のスマイルサポーターによる福祉相談と障がい者作業所の手作り品が販売されます。  
オープン当日の1月15日は、寝屋川市長等が来賓として出席されました。大西委員長は、「地域貢献委員会では、児童、高齢者、障がい児者の対象種別を越えて協力し、それぞれの専門性・地域特性を生かした取り組みを検討し、「チョット寄ってん家」という拠点づくりが出来ました」と話されていました。  
みなさん、お気軽にお越しください。

## 社協 日常生活 知恵袋 自立支援事業

「福祉サービスを利用したいけど、手続きの仕方が分からない」「銀行に行ってお金を下ろしたいけど、自信がない」「計画的にお金を使いたいけど使えない」  
毎日の暮らしのなかにはいろいろな不安や疑問、判断に迷ってしまうことがたくさんあります。

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者、知的障がい者や精神障がい者など、判断能力が不十分な方を対象とし、サービスを利用することにより、地域で自立した生活が送れるようにサポートします。  
【サービスの内容】  
▼福祉サービスの利用に関する情報提供や、相談を行います。  
※福祉サービスとは、ホームヘルプサービスやデイサービス、食事サービス、入浴サービス、就労支援や外出サービス などさまざまなものがあります。  
▼預貯金の出し入れを行い、家賃、光熱費、日用品等の購入、支払いを手伝います。  
▼通帳や年金証書等を貸金庫で預かります。

### 生活支援課

日常生活自立支援事業担当

☎ 3838-0199





**見守り協力員の取組み**  
点野校区福祉委員会

**さりげない見守り 福祉協力委員**  
点野校区福祉委員会(白川清司委員長)では、自治会単位ごとに見守り活動を実施しています。

府営仁和寺団地地区福祉委員会(高月昭二地区長)では、十数年前から「福祉協力委員」を選任し、団地内でのさりげない見守り活動を展開しています。

見守りの対象としているのは65歳以上のひとり暮らし高齢者87人(平成29年5月時点)。福祉協力委員は対象者ごとの見守りカレンダーを活用しながら、姿を見たか、電気がついていないかなどを、週2回以上確認しています。新聞が取り込まれていなかったり、電気が消灯しないなど、異変を感じた際には自治会長が福祉委員長に連絡することにしており、見守りが必要ではないかと感じた住民に対しては、家庭訪問を実施し、顔の見える関係性を築いています。

**施設と一緒に！**  
かぎ預かり事業

**かぎ預かり事業協力施設**  
ケアハウスグリーンヒル淳風  
「住民のみならずにもっと知ってほしい」寸劇の取組み

グリーンヒル淳風は、平成27年より、住民にもっと事業のことを知ってほしいとの思いから、社協職員とともに、地域の催しでかぎ預かり事業の緊急対応場面をわかりやすく寸劇という形で伝えてきました。

施設職員である多賀博明さんは「事業が立ち上がった当初、かぎ預かり事業の利用者が考えていたよりも少ない状況でした。地域貢献の一環として協力したこの事業をもっと住民に知ってほしいとの思いから、私たちが施設の中だけでなく地域に出ていく必要性を感じました。パンフレットやチラシで説明することも考えたのですが、かぎ預かり事業が実際に役立つのは、緊急時の安否確認の場面。だったらそこを伝えるための寸劇を上演していこうとなりました」。これまで中央校区民生委員児童委員協議会や老人会などで実演してきました。観覧した参加者からは「緊急対応の場面がわかりやすくとめられていて参考になった」という声が出ていました。

見守りの対象者からは「見守ってくれていてうれしい」「安心感がある」との声が聞かれています。

**「孤立死を起させない」**  
「団地一丸となって見守り」

孤立死の発生は、府営仁和寺団地も例外ではありません。これらを防ぐために、自治会・福祉委員会・民生委員らを中心に、団地一丸となって見守り活動に取り組んでいます。

しかし、課題も存在しています。1つは福祉協力委員の高齢化。そのため、福祉協力委員自身も見守り対象者となり、協力委員同士で、相互に見守りを実施しています。

その他の課題として、高齢者夫婦で、どちらか一方が要介護状態であるなどのリスクが高い世帯や、65歳未満で疾病を抱えているような方々をどのように把握し、見守りをしていくかが挙がっています。

現在は福祉協力委員1人が1〜6人の方を見守っていますが、今後は福祉協力委員の増員も検討をしています。

見守りカレンダーを活用して日頃から異変の発見につとめています

**子育てサロン「だるまっこ」**  
西校区福祉委員会

**リフレッシュしに来ませんか？**

西校区福祉委員会(栗原柳次委員長)では、毎月1回子育てサロン「だるまっこ」を実施しています。平成19年に始まり、これまで120回以上実施してきました。

子育てサロンでは、民生委員やボランティア部員が中心となって、子どもたちへの楽しい遊びを考えたり、終了後に子どもたちに手作りのプレゼントを渡しています。また、子どもたちだけでなく、母親や父親にも安心して情報交換やリフレッシュしてもらうためにも、暖かい雰囲気づくりをするとともに、安心・安全な環境の提供に努めています。

**地域の輪で成長を見守っています**

開所当時に子育てサロンに来ていた子どもたちは、すでに小学生、中学生になっています。民生委員らは、「大きくなって、地域で出会うと、だるまっこのおばちゃん、こんにちは！と元気よく声を掛けてくれます。威勢のいいあいさつは、お互いに気持ちがいいですね」と話されています。

**募金への**  
「ご協力ありがとうございました」

**赤い羽根共同募金**  
平成29年10月1日から行われた赤い羽根共同募金運動は、みなさんのご協力により、戸別募金や街頭募金など1453万881円が集まりました(平成29年12月26日現在)。

集められた募金は、大阪府共同募金会に一括して集約され、府内の高齢者福祉施設や障がい者福祉施設、児童福祉施設等の施設整備や社会福祉協議会がとりくむ地域福祉事業に配分されます。

平成29年度赤い羽根共同募金実績一覧表

募金種別	実績額
戸別募金	12,932,497円
事業所募金	843,075円
街頭募金	96,332円
学校募金	89,872円
職域募金	64,968円
募金箱等	148,637円
バッジ募金	355,500円
合計	14,530,881円

(平成29年12月26日現在)

**歳末たすけあい運動**

平成29年12月1日より「つながりささえあうみんなの地域づくり」をスローガンに歳末たすけあい運動募金を実施した結果、下表のとおり募金が集まりました。みなさんにご協力いただいた歳末たすけあい運動募金は、校区福祉委員会や福祉団体などに配分さ

平成29年度 歳末たすけあい運動募金実績一覧表および配分予定先一覧表

戸別募金	11,824,761円
事業所募金	797,600円
街頭募金	165,270円
一般(個人・団体等)募金	289,622円
合計	13,077,253円
校区福祉委員会が行う地域福祉活動に対する助成	8,063,016円
ひとり暮らし高齢者の福祉の増進に寄与する事業、活動への助成	2,416,200円
障がい者や難病患者などの当事者団体や家族の会への助成	364,480円
ボランティアセンター登録のボランティアグループへの活動費助成	562,900円
介護者の会への活動費助成	320,000円
生活緊急支援金給付事業への活動費助成	20,000円
災害ボランティアセンター備品整備への助成	130,657円
配分金合計	11,877,253円
歳末たすけあい運動募金の実施等にかかる諸経費	1,200,000円
合計	13,077,253円

(平成30年1月4日現在)

れ、地域福祉活動に活用しています。(左表参照)。

校区福祉委員会が取り組んでいる事業としては、地域での孤立を防ぐために、ひとり暮らしの高齢者宅への訪問や、地域住民同士の交流を深める交流会の開催などがあります。この他にも、障がいをもつ当事者団体や家族の会が取り組む交流会、ボランティアセンターに登録しているボランティアグループへの活動費助成、生活困窮者を支援するための費用などに活用されています。ご協力ありがとうございました。



参加者を見送り、「私たちも楽しかったね」と自然に笑顔に

●日時 原則第4火曜日 10時〜11時30分  
●場所 池の里市民交流センター  
●地域福祉課  
☎838-0400



お知らせコーナー

**募集** 「自助具製作」 ボランティア講座  
「自助具は生活のパートナー」

普段利用している日用品に少しの工夫を施すことで、体の不自由な方の生活動作を助けてくれる道具(自助具)に生まれ変わることが学べます。

**日時** 3月16日(金) 13時30分～15時30分

**場所** 保健福祉センター5階 多目的ホール

**講師** 小西 誠氏(作業療法士)

**対象** 岡本 健太氏(作業療法士)

**定員** 50人

**参加費** 無料

**申込** 2月1日(木)から直接または電話で受付(定員になり次第締切)

☎ 地域福祉課 083810400

**募集** 第3回家族介護者交流事業 松葉温泉 日帰りバスツアー

高齢者などを在宅で介護している家族の心身のリフレッシュを目的に、第3回家族介護者交流事業を実施します。

**日時** 2月28日(水) 9時30分～16時

**行き先** 松葉温泉「瀧の湯」(大阪府貝塚市3438)

**対象** 市内在住の寝たきりや認知症の65歳以上の高齢者および介護保険制度の要介護認定を受けている40歳以上の人を介護されている方30人(介護家族の複数参加可)

**参加費** 2,000円

**申込** 2月1日(木)から直接または電話で受付(定員になり次第締切)

☎ 地域福祉課 083810400

**案内** 認知症介護家族交流会

平成29年度最後の認知症介護家族交流会を開催します。認知症の家族を介護されている方が日頃の思いを語り合っていただけ交流会です。当日は自由参加です。お気軽にお越しください。

**日時** 2月16日(金) 13時30分～15時30分

**案内** 400ml献血にご協力ください

献血は地域の校区福祉委員会および関係機関・団体がお手伝いしています。都合により、日時・場所が変更する場合があります。

**日時** 3月14日(水) 10時～15時

**場所** 総合センター1階 ロビー

☎ 地域福祉課 083810400

**案内** にぎわいバザーで掘り出し物を見つけませんか

ひとり暮らし高齢者の会連絡会主催のにぎわいバザーを開催します。手作り商品や掘り出し物など、色々な商品を用意しています。たくさんのご来場をお待ちしています。

**日時** 3月14日(水) 10時～15時

**場所** 保健福祉センター5階 階会議室1・2

来年度も偶数月の第3金曜日に定例開催する予定です。

☎ 地域福祉課 083810400

**急募** 運転協力者認定講習会 参加者募集

外出が困難な高齢者や障がい者の通院や行事などの目的で、送迎する運転ボランティア(無償活動)に協力していただける方を募集します。安心して活動していただくために講習会を開催します。

**日程** 2月17日(土) 10時～17時30分  
2月24日(土) 10時～13時  
(※2日とも受講が必要)

**場所** 保健福祉センター5階 階会議室1・2

☎ 地域福祉課 083810400

◆善意銀行・一般寄附・社会福祉基金◆ (平成29年10月1日～12月31日) 敬称略

善意の流通センター

預託者氏名	品名
中西 恭三(成田西町) 農産物品評会出品者一同 同志社香里中学校・高等学校(三井南町) 宮里歌謡教室 宮里智子(枚方市) 高橋亜希子(池田西町) 匿名(3件)	自走式車イス、本、紙おむつ、シルバーカー、杖 非常用飲料水、精米、アルファ米

※一般寄附への寄付金合計金額は、6万5250円でした。  
※善意銀行の預託金合計金額は、3万円でした。  
ありがとうございます。

【現金の部】

【物品の部】

<お願い>お受けできる物品は、新品(相当)のものに限ります。ご理解・ご協力のほどお願いいたします。

**平成29年度ボランティア表彰受賞**

**ボランティア功労者 厚生労働大臣表彰**

本市から1名(個人)、1団体が受賞されました。

個人での受賞が決まった村井瞳さん(春日町)は、昭和62年から高齢者施設利用者の話し相手や喫茶の手伝い、手作りの介護用品や絵手紙を作成し、対象者に提供しているだけでなく、施設や小・中学生などに絵手紙の作成方法を教える活動を行っています。

団体受賞が決めた「すみれの会(森田正信代表)」は、平成4年から高齢者施設の入居者の日常生活の支援(入浴後の水分補給と髪を乾かす援助)に取り組みられています。他にも、入居者と一緒に歌を歌う活動など、会話を通してふれあいの時間を大切にして活動に努められています。

**大阪府社会福祉ボランティア 知事表彰**

本市から1名(個人)、1団体が受賞されました。

個人での受賞が決まった水船博子さん(寿町)は、30年以上にわた

り、地域の高齢者福祉活動に携わってきました。現在は、常に3～4名の地域住民の方に対する週3回程度の見守り活動に加え、月1回の子育て支援活動など、日頃から近所のつながりを大切に活動しています。

団体受賞の「寝屋川市社会福祉協議会ホームページ作成ボランティア くりっくねっと☆(川崎美砂子代表)」は、本会のホームページ作成という活動を通して、福祉の情報を提供することで市民の手助けができればという想いを源に、「市民目線を重視した分かりやすいホームページ」の作成に尽力されています。

受賞された方々、本当におめでとうございます。

必要な情報にたどり着きやすいよう市民目線で作成しています(くりっくねっと☆)

(広告)

**「終の住処」として、安心できるホーム**

元気な方から要介護「5」の方までご入居いただけます。

**入居者募集!**

自信のある医療・看護・介護のサービスを提供いたします。

**リーズナブルな利用料**

●60歳以上の方  
●要支援・要介護・認知症の方  
●施設入所待ちの方

**良心価格**

老人ホーム  
寝屋川市立第3中学校南側  
☎072-826-6777  
お電話いただければお迎えにまいります